キャラクター名
満風寺狼（みちかぜ・じろう）

プレイヤー名

シンドローム	ソラリス ウロボロス	ワークス	喧嘩屋	カヴァー	高等部学生
オプショナル		年齢	17	性別	
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	40 %
出自	母親不在	経験	同居人	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	1	0	2		4
感覚	1		0			1
精神	3		0			3
社会	3		0			3

HP	31
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ			交渉		
回避	4		知覚			意志	1		調達	6	
運転：			芸術：			知識：			情報：ｱｶﾃﾞﾐｱ	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ﾌﾞｰﾂ（ﾒｶﾆｶﾙﾌｨｽﾄ相当品）	白兵	4r+4	0	5		ガード無効。1シナリオ1回。
コンボ	白兵	6r+4		5		
コンボ80↑	白兵	6r+4		17		ターゲットロック前提
コンボ100↑	白兵	7r+4		20		ターゲットロック前提

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
Cランク1	
デモンズシード	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
No_記憶探索者	P	N		
雲雀宏一（固定）	P 信頼	N 嫉妬		
大月茜（固定）	P 信頼	N 恥辱		
古嶋京谷（シナリオ）	P 友情	N 隔意		
隠岐 恒和(ツネカズ)	P 感服	N 脅威		
皆葉 立夏（リッカ）	P 信頼	N 恥辱		
倉咲 鏡治（ケイジ）	P 感服	N 劣等感		

最大財産P: 18	残り財産P： 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト：ソラリス	2	2	MA	-	-	-	-	
効果：	C値-[LV]、下限値7							
コンセントレイト：リフレックス	2	2	rA	至近	自身	-	-	
効果：	C値-[LV]、下限値7							
アドレナリン	2	2	MA/rA	-	-	対決	-	
効果：	判定+[LV+1]D							
原初の黄：ターゲットロック	4	4	set	至近	自身	自動	-	
効果：	ｼｰﾝ間対象へのatk+[LV×3]							
朧の旋風	1	10	auto	至近	自身	自動	100↑	
効果：	回避判定成功時、HPコスト10で行動消費無くﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ取得。1ｼﾅﾘｵに1回使用可能。							
原初の虚：鼓舞の雷	1	4d+2	In	視界	単体	自動	120↑	
効果：	対象は行動消費無くﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ取得。1ｼﾅﾘｵに1回使用可能。							
原初の白：時間凍結	1	7	In	至近	自身	自動	80↑	
効果：	HPコスト20で行動消費無くﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ取得。1ｼﾅﾘｵに1回使用可能。							
原初の黒：ラストアクション	1	7	auto	至近	自身	自動	100↑	
効果：	戦闘不能前にﾒｲﾝﾌﾟﾛｾｽ取得。1ｼﾅﾘｵに1回使用可能。							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「困ったことがあったらなんでも言ってくれ！」
「見て見ぬフリができる程、器用じゃないんでねっ！！」
「ま、参りました…」潰れたヒキガエルのように倒れながら

ジローと呼んであげてください。
自称「通りすがりの高校生」
どこの団体にも所属せず、今日も今日とてお人好しに精を出す。

［容姿］
ツンツンした短髪。癖が強すぎて直らない寝癖ならしい。
筋肉質ではなく割と細身。

［性格］
軽い。考え無し。そして馬鹿。の三拍子。
意外と気は回る。
人の世話を焼くのが好きで、頼まれてもないのに面倒を見たがる。
誰かを助けるとなった時は誰にも止められない。猪か火の玉か、という特攻を見せる。

［平時］
学園島の中ならどこにでも出没する。
人手が欲しい人、困ってる人、学園に慣れてない人、泣いてる人、なんかの辺りに大体いる。
よく生徒会や報道部に顔を出す。学園の問題なら雲雀宏一に訊ねるのが一番なので、よく困り事がないかを聞きにいく。